



個人旅行の本

# かたこと英語で スイスへ行こう

海外旅行とらの巻  
個人旅行を楽しもう

photograph by Hisao Iwai



高尾山の花名さがし

マッターホルン

Photograph by Susumu Endo

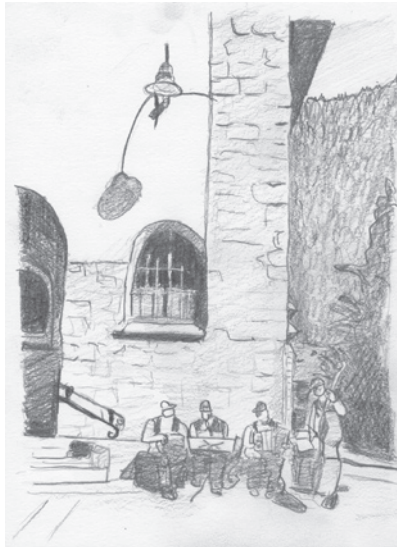
高尾山の花名さがし隊



Book of Personal travel

# Let's go Switzerland in broken English

Know-how of Personal travel



Takaosan no hanamei sgasitai

## はじめに

スイスは一度は行ってみたいと思うあこがれの国である。マッターホルン、アイガー、ハイジの里などは多くの日本人が知っている。個人旅行で何回か行っているが、10年以上前に行った時はツアーが多く、個人旅行の人は少なかった。

最近の子育ての終わった女性達数人のグループやリタイアした夫婦によく会う。そんな中で英語が得意でない人の割合意外と多い。ツアーの場合でも自由行動があったり、食事を自分達で食べる時もあるという。

この本ではそれほど英語の得意でない人がスイスに行く時に参考になるようにと、私の経験からそのコツを紹介している。個人旅行でスイスに行きたい人やツアーの自由行動をもつと楽しみたい人の参考になれば幸いです。

この本を参考にして日本国内で計画を充分検討し、現地では余裕をもって慎重に行動し、安全な個人旅行を楽しんでほしいと思います。



S.Endo

2015年2月10日

遠藤 進

## 目次

1. **スイス個人旅行の準備** . . . 5
  1. スイスでやりたいことは
  2. スイスの情報を集める
  3. おおまかな計画を立てるコラムー1
2. **英会話を楽しむ準備** . . . 13
  4. 簡単な英会話を楽しもう
  5. 英語を聞き流そう
  6. 単語だけでも通じる
  7. インフォメーションで聞こうコラムー2
3. **旅行計画を楽しむ** . . . 23
  8. いつなにをするかを決める
  9. 英語で日程一覧を
  10. エアーチケット、ホテルの手配コラムー3
4. **スイス旅行を楽しむ** . . . 31
  11. 天気などを見ながら臨機応変に
  12. 余裕をもった行動を
  13. 食事も楽しみのひとつ
  14. 役割りを分担して行動をコラムー4
5. **情報を有効に活用しよう** . . . 41
  15. スイスではwifiが役にたつ
  16. 日本人から最新情報を
  17. 道の分岐でよく確認をコラムー5
6. **トラブルは事前に予測し対策を** . . . 49
  18. 飛行機などのトラブル対応
  19. いろいろなトラブルと対応コラムー6

\* 重要ポイントは関連ある他のページでも重複して説明

# 1章

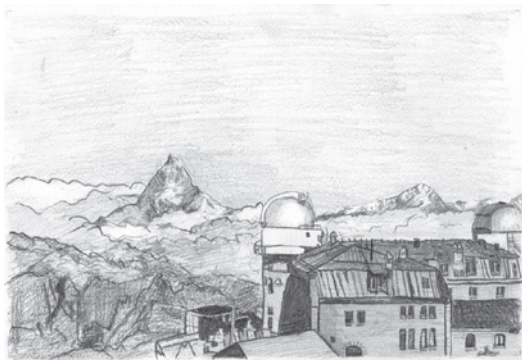
## スイス個人旅行 の準備



個人旅行の本

## 優先順位を決める ことが大事

旅先での優先順位を決めておくと、雨になったら町に観光に行くとか、船の観光に切り替えたりするなど、臨機応変に対応できるので、悩むことがない。ハイキングは天気がいい時が一番で、ある。個人旅行のいいところはツアーと違い状況の応じて計画を変更し、楽しめることである。



## 1 スイスでやりたいことは

ハイキング、花の写真撮影、山の写真を写す、世界遺産を観光、船での観光、電車でののんびり旅行、グルメ、スケッチ、スキーなど、旅の目的はいろいろあるが、とにかくやりたいことの優先順位を決める。

私の場合は1番はハイキング、2番はアルプスの山の写真を写す、3番は花の写真を写す、である。ハイキングといっても、スイスでは電車で3000mの高地まで登ることが出来る。電車の終点からピッケルを持って、夏でも雪山を楽しむこともできる。

私の場合は電車で登り、山下りを楽しむことにしている。ツアーと違い、日本のガイドブックにないコースも堪能できる。欧米人は風景をみたり、花の写真を写したりするよりは、ハイキングしながらおしゃべりを楽しんでいるようである。私の友人は花の写真撮影に夢中だった。ハイキングしながらスケッチする人や写真を写して帰国後に写真から絵を楽しむ方法もある。

# スイスの情報は 日本国内で集める

せっかく個人旅行でスイスに行くのにガイドブックに載っているところを歩くだけではもったいない。ツアーでは行かないような個人旅行ならではの歩きかたをしたい。





## 2 スイスの情報を集める

やりたいことが決まったら、優先順位の高い項目を重点的に情報収集する。ガイドブック、テレビ、ホームページなどから、日本国内でもいろいろな情報を集めることができる。

スイス観光局の日本語ホームページから無料のパンフレットが送ってもらえる。地図、ハイキング、グルメなど、テーマ別に多くの資料が手に入るの役に立つ。

スイスにある日本語観光案内所のホームページで、現地情報も調べることができる。観光案内所の場合はメールで可能。スイスのホテルで日本語のホームページがあるところもある。スイスに行ったことのある人から話を聞いたり、現地で集めた資料を見せてもらうのも有益だ。

私は友人から乗り継ぎの方法や、高い山に登る場合は途中で一休みしてならして登った方がいい、高所に弱い人がいる時には山岳ホテルで一泊した方がいいとか教えていただいた。

## 計画で個人旅行の質と コストが決まる

個人旅行はツアーより高くなると考える人が多いが、計画の仕方次第でツアーより安くて日程も長くできる。航空機、ホテル、食事をどうするかで大体の費用が決まる。



### 3 おおまかな計画を立てる

何日くらいの旅行にするか、どこの飛行機に乗るか、どこを拠点にしてハイキングか！初日は飛行機の疲れや時差があるので軽い観光にするか、最終日は空港に早めに着くようにするとか。スイス国内の移動をどうするとか、予算をどのくらいにするか。

予算に応じて飛行機を直行便にするか、安い乗継便にするか。ホテルのグレードを三つ星にするか、二つ星にするか。食事付のホテルにするか。

私の場合はアジアで乗継して、安くしている。乗継でのトラブルが心配な場合は高くなるが、直行便にした方がいい。スイス国内の移動はスイスパスを利用することになっている。キップを買う手間がはぶける上に料金も安い。

約12日の旅行が多いが初日は夜に着くことが多いので空港の近くのホテルに泊まる。2日目は軽く観光かハイキング。最終日は軽く観光し空港に3時間以上前に着くようにする。宿泊はツェルマットとグリンデルワルド連泊が多い。

## コラムー1

### スイスで役立つもの

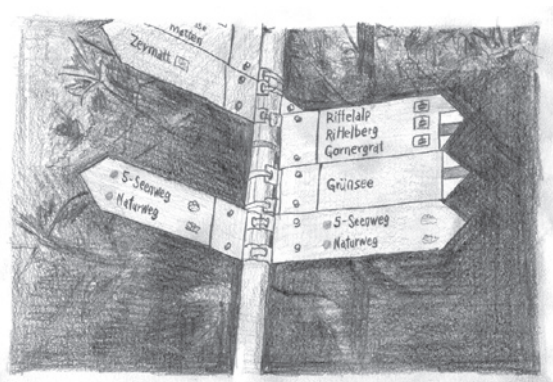
スイスで役に立つものは、100円ショップで買ったポンチョ、手ぬぐい、化繊の着替え、携帯ウォシュレットなどいろいろある。特に私の場合は役立つのはポンチョである。

ハイキングの食事の敷物として使えるし、雨の時の写真撮影も楽である。それにかさばらない。化繊の着替えもすぐ乾くので、1セット用意すれば十分と、ある友人は言っている。手ぬぐいはすぐ乾くし、靴の剥がれの補強やけがの時にも使える。



## 2章

# 英会話を楽しむ 準備



個人旅行の本

# 英会話は質問から

海外旅行でよく使うのは「トイレはどこですか」だが、ハイキングの場合は下記の短文を私はよく使う。

How long does it take to the station?

「駅までどのくらいかかりますか？」と聞くと駅までの時間とこの道を行くと、駅に行けるかの2つの答えが返ってくる。station(駅)を他の単語のホテルや山の名に変えればいろいろ応用できる。



## 4 簡単な英会話を楽しもう

この本の巻末の約10の短文を暗記して、日本語を英語に訳して話すことをやめ、直接英語で話そう。飛行機内ではあまり英語は必要ないが、飛行場に着くと早速必要になる。ホテル行きのバスの出発する場所を聞かねばならない。インフォメーションの場所をさがすのに英語が必要。この時に短文が役にたつ。

Where is the information?

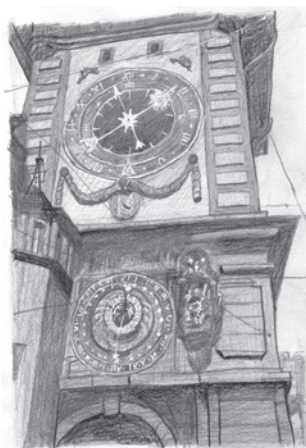
と尋ね、インフォメーションでバスの出発するところを聞く。店の店員などはドイツ語圏の人が多いので英語が通じない可能性があるが、数人に聞けば1人くらいは通じると思う。

どんな場面で短文を使うか事前に考えておけば役に立つ。上の短文を使えばトイレをさがすのにもインホメーションをトイレに変えるだけで使える。駅に変えれば駅の場所を聞ける。

場所を聞くにはこの短文を一つ暗記しておくだけでなんとかなり一安心です。自分で短文をどんどん追加して海外での個人旅行で利用しよう。

# 英会話は学問ではない

学問ではないので気楽にやろう。日本語が話せない外国人が日本中を旅行している。学校の授業を経て、英語の単語を少なくとも1000語は覚えているのに、英語圏のヨーロッパを歩けないはずがない。





## 5 英語を聞き流そう

ゴルフ選手が宣伝している英会話のDVDもあるが、100円ショップや雑誌の付録などいっば見られる。安い費用で購入し、スマホなどに入れて楽しみながら聞こう。

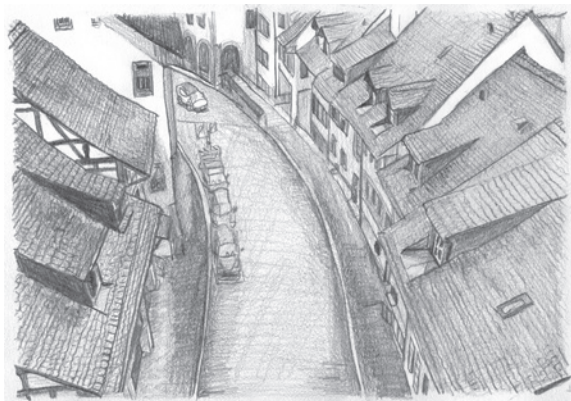
電車での移動の時や暇な時に気楽に聞き流す。NHKの朝の英語のラジオ放送はいい。毎日聞いて英会話がペラペラになった人を知っている。

米軍のネイティブでない人向けのラジオVOA（ボイスオブアメリカ）のスペシャルイングリッシュも約1500語の単語しか使用していない。それにスピードが遅いので分かりやすい。特にニュースは短い話題がいっぱい入っているので勉強になる。

分からなくても気にしないで、3日坊主にならないように、細く長く続けていけばなんとなく分かるようになってくる。VOAの普通の放送は、初めは音楽にしか聞こえないが、そのうち単語が分かるようになるのでこちらも聞き流そう。

## 努力すれば なんとかなる

多少は失礼なことがあるかもしれないが、英語は通じればいいと腹をくくろう。仕事ではないのだから！旅行中はお客様なので、相手もいろいろ聞き分けようと努力してくれる。英語の電子辞書は役立つので持参した方がいい。



## 6 単語だけでも通じる

外国を旅するには、スイスに限らず英語がペラペラの方がいいに決まっているが、すぐにはそうならない。伝えたいキーワードを並べるだけで意外と通じる。海外では、トイレがどこか分からないことが多い。

「Where is the restroom?」

と普通は聞く。レストルーム?の語尾を上げると通じやすい。トイレは国によって、レストルーム、ラバトリーなどということがある。友人が

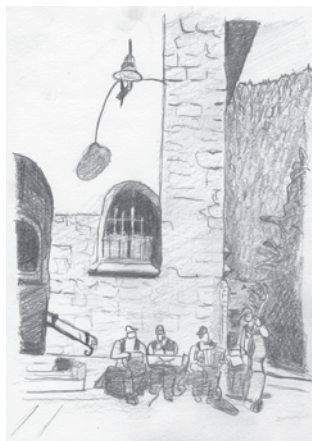
「Beer、How much、take away」

と言って船のレストランからビールを買ってきて船の甲板で一緒に、おいしい生ビールを飲んだことがある。苦労して買ったビールのうまいこと！日本では「テークアウト」という場合が多いがスイスでは「テークアウェイ」といっているのが分かり、友人は早速ためしたわけである。

知人が靴を買ったら、両方共左足だったので店員に指さして「レフト、レフト」といったら交換できたとか。

# さがすより 聞く方が早い

空港などの広いところで、目的の場所を自分でさがすのは大変！恥を忍んで人に聞くのが一番。連れがあれば、1人が近くの人やインフォメーションなどで聞き、他の人は荷物番をするといい。荷物を適当なところに置いておくと、持っていかれるので注意すること。



## 7 インフォメーションで聞こう

スイスに着いて空港のインフォメーションさがしが最初の仕事である。空港以外にも駅や町の観光案内所などで聞くのが役に立つ。現地ではドイツ語を使用している地域が多く、英語が通じない場合もある。インフォメーションや案内所、駅などは英語が通じるので、聞きたいことはまとめて案内所などで確認しよう。

日本語の通じる観光案内所などがあつた場合は、旅行全般のことをまとめて聞いておこう。日本人と会つた場合も同じで、出来るだけ情報交換をする。特に個人旅行している人の情報が有効である。最近は何人で個人旅行している女性やリタイア後の夫婦が目立つ。

ツアーの添乗員に聞くのも良策。飛行機が飛ばなくなつたときにはいろいろな情報を日本人から集めて対応した。

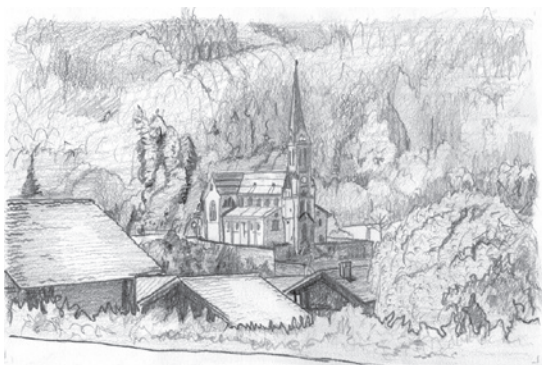
できるだけwifiのできるホテルで、前日にインターネットで調べておくことも大事である。

## コラムー2

### 英会話はブロークンで

情報収集のために英会話が必要であるが、それ以外でも外国人と交流を楽しもう。日本ではハイキング中に「こんにちは」という。

スイスでは同じ意味で「ハロー」といえばいい。他にもWhere do you come? と「どこの国から来たの?」と聞いてみよう。



## 3章

# 旅行計画を楽しむ



個人旅行の本

# おおまかな計画と 考え方を明確に

個人旅行の場合のメリットは、自分で計画を立てられるところ、そして急な変更にも問題なく対応できるところである。予め数種類の状況設定をしておくといよい。





## 8 いつ何をするかを定める

スイスには夕方着くことが多いので、なりゆき上、飛行場の近くに宿泊する。2日目は飛行機の疲れもあるので、軽くハイキングあるいは観光をして1ヶ所所目の拠点に宿泊する。トランクは電車で事前に送ってもらうように手配し、身軽に移動するのが便利である。

私の場合はチューリヒに近いクールで宿泊することが多い。氷河特急に乗るのに便利だからである。3日目は朝一番の氷河特急に乗る。ツエルマットには夕方着くが、夏は夕方9時頃まで明るいので軽くハイキングすることもある。

3～4泊し次のグリンデルワルドに移動し3～4泊する。両拠点では天気をみながら、メインのコースを早めにハイキングし、雨の時は街の観光とする。

3～4泊の1日は予備日としておく。天気に応じて違うコースに行くとか、機転をきかせたい。ツアーは8日間で実質6日が多いが、私の場合は12日間で実質10日である。これでツアーよりかなり安い。

## 日程を英語で

日程は英語で作った方が、飛行機の便、ホテル、駅名、時間などがアルファベット表示なので現地で見ると役に立つ。入国審査や空港のカウンターなどでも便利である。私の作成事例を参考に作ってほしい。外国人の友達と会うときにも事前に送っておくと間違いない。



9 英語で  
日程一覧を

Swiss tour plan

	Month	Day	Departer	Arrive	From	To	Stay	Sightseeing
1	June	23						
2		24						
3		25	9.25					
4		26		20.01	Narita	Zurich	Narita	Pick up at the airport
5		27	10.27		Zurich	Chur	Zurich	Kleiner Heidiweg
6		28		16.01	Chur	Zermat	Chur	Glacier Express
7		29					Zermat	Gornegrat
8	July	30			Zermat	Grindelwald	Zermat	
9		1					Grindelwald	
10		2					Grindelwald	
11		3					Grindelwald	Bort
12		4	21.35				Grindelwald	Jungfraujoch
				20.01	Grindelwald	Zurich	Zurich	First
							Narita	

24 June

KOREAN AIR KE0917 To ZURICH

3 July

KOREAN AIR KE0001 To INCHEON

# 飛行機の乗継で 飛ばない場合

イミグレーションしないで、フライト  
コネクションのカウンタで、別の便へ  
の変更の調整をする。この場合は日本  
人の添乗員などから情報を収集した方  
がいい。ツアーと違い個人旅行は人数  
が少ないので、別便はなんとかカウン  
ターで、手配してくれる。



## 10 エアーチケット、ホテルの手配

エアチケットは格安のものをインターネットで調べて、極力安く購入するとよい。私の場合、直行便はトップシーズンだと高いのでアジアでの乗継便を利用している。安全を第一に考えればかなり高くつくが、直行便で国内の航空会社と共同運航しているスイスエアを利用する方法もある。

イギリスのヒースロ空港で飛行機が飛ばず、対応に苦勞した経験から、トラブルが発生しても日本に帰国しやすいアジアの空港で乗り継ぐことにしている。電車のスイスパスや指定券はどこでも同じ値段なので、旅行社か航空券と一緒に航空会社系列の旅行社で購入する方法もある。

ホテルはスイスにある日本語観光案内所のインターネットで購入できるので便利である。ホテルの星の数で料金が違うが、スイスのホテルは二つ星でも結構清潔で快適に過ごせる。ホームページにはいろいろな情報が載っている。メールで質問もできる。

### コラムー3

## スイスパスを徹底的に使おう

私がよく使うのは8日間のスイスパスである。スイスの国鉄が発行しているスイス国内なら、どこでも何回でも使える乗車券だ。電車以外でも船などに使える。登山鉄道やケーブルにも割引料金で乗れる。

操作が分からない自動販売機や言葉通じにくい窓口で、チケットを買う必要がないのである。氷河特急などの特別な電車以外は特急でも指定券が必要ない。日本での購入が可能である。



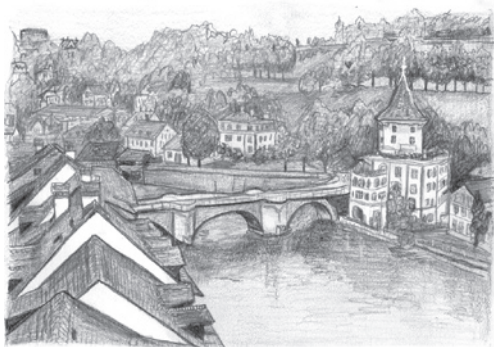
## 4章

# スイス旅行を 楽しむ



## 予定していない 行動も楽し

現地で聞いたり、調べたりした情報から行動するのは楽しい。ガイドブックには載っていない穴場や日本人が1人もいないハイキングコースを満悦できる。





## 11 天気などをみながら臨機応変に

ツアーでは天気が悪くても予定通り行動する。天気に関係なく山に登るので、せっかくのアルプスの風景が楽しめない。個人旅行なら雨のときは世界遺産のベルンに行ったり、天気なら山に登りに出かける。これが個人旅行の醍醐味である。

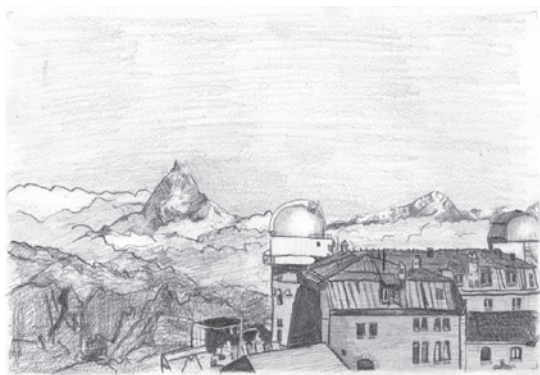
山登りのコースが2つある場合でも両方楽しめる。日本のガイドブックに載っている王道のハイキングコースも体験できる。穴場コースは日本語の説明がないので、会う人に確認をしながら進む方がいい。下記の質問が使うと便利である。

How long does it take to  
the station ?

この質問で時間が駅までどのくらい時間がかかるかと、この道が正しいかが分かる。道が間違っていない場合は時間を教えてくれるし、間違いの場合はこの道は違うよと教えてくれる。

# 個人旅行は 余裕をもって行動を

氷河特急以外は指定券の必要がなく、  
特急も自由に乗れるので、状況をみな  
がら十分な余裕をもって行動しよう。



## 12 余裕をもった行動を

氷河特急以外は指定券の使用もないので、余裕をもった行動をしよう。現役時代は初日から仕事の場合が多く、1週間で地球を1周したこともあった。現地の昼の時間に合わせてコーヒーを飲んだりして時差を解消したものである。

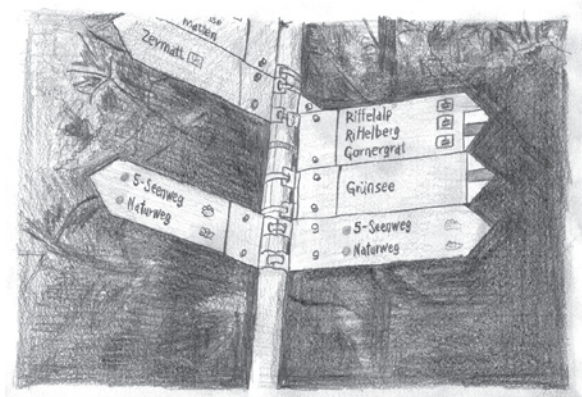
個人旅行は仕事ではないので、初日は飛行機の疲れや時差ボケを解消すべく軽いハイキングや観光にとどめておこう。

最終日は飛行場に3時間くらい前に着くよう早めに行動しよう。早く着けば何かトラブルがあっても対応しやすい。トランクは持ち歩かず、駅で目的地まで送ってもらうようにしよう。初日と最終日以外も十分な余裕をもって行動したい。

ツアーと違って計画通りに行動する必要がない。予備日をとっておけば気に入った場所へ2回行くこともできるし、コースを急ぎょ追加して、日本のガイドブックにはないコースをハイキングして楽しむことも可能である。

# 私の場合は朝食が メインデッシュ

ホテルの朝食付きを頼むと、以前は簡単なB & Bだったが、最近は日本のホテルの朝食に近くなっている。スーパーでもサラダのパックや惣菜が、種類は少ないものの売られている。ドイツ圏が広いスイスの主食はジャガイモ。ジャガイモを使ったドイツ料理が美味しい。



## 13 食事も楽しみのひとつ

食事は日本のように写真入りのメニューがないので頼むのが難しい。

チーズフォンデュ、ラクレットなどの代表的な料理はスマートフォン、デジカメに写真をいれておいて頼んだりガイドブックの写真を見せると間違いがない。

レストランによっては、日本語のメニューがあるレストランもある。

Do you have Japanese menu?

と聞いてみるとよい。以前スイスのレストランで、ステーキを頼みたいと思い英語のメニューで注文した。添え物がヌードルかライスかフィッシュフレークと聞こえたので魚の細かくしたものかなと思い、フィッシュフレーク頼んだ。

出てきたのはポテトフライだった。フレンチフライをフィッシュフレークと聞こえたみたいだ。

海外では日本食を食べたくなるがラーメン、カレーライスが2000円というポスターを見てビックリした。持参したアルファ米のチャハンや味噌汁、インスタントラーメンが美味しい。

# 英語をしゃべる人 と聞く人

私は家内とスイス、香港などに行くとき家内が英語を聞く係り、私がブローケンイングリッシュで話す係りで、2人で半人まえでなんとかやっている。



## 14 役割りを分担して行動を

個人旅行は数人で旅行をする場合が多いが、得意分野を分担した方が効率的である。支払を1人の財布からやると最終の会計が楽である。

企画、記録、天気予報、電車の時刻など、分担できることはいっぱいある。国内でもスイスでも、wifeが使えるホテルを予約すればメールでやりとりできるので便利である。

あるスイス旅行では、私は企画係、友人は花の撮影係、友人の奥さんは会計係を担当。友人が花を撮影している間に、奥さんと私で地図と道標のチェックを担当した。

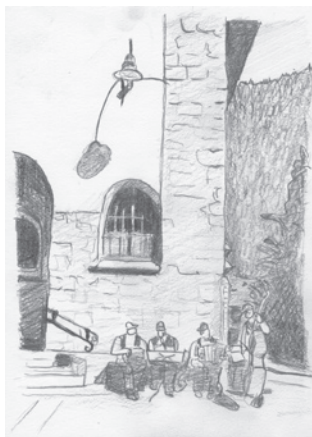
日本でのチケットやホテルなどの手配は私がやり、食料や品物の調達や現地での電車や天気の情報収集の方法などは、同行の夫妻が担当した。スマホが現地での情報集めに役立った。帰国後のスイスで撮影した写真展は私が担当した。

## コラムー4

### トランクは電車で送ろう

トランクを持つての観光は大変だし、ハイキングは不可能である。スイスにはライゼンベックという、昔の日本のチッキのような便利なシステムがあるので重宝である。スイスパスを見せると、有料だが、スイス国内の駅ならどこでも送ってくれる。即日受け取れるものと数日後に受け取るものがある。

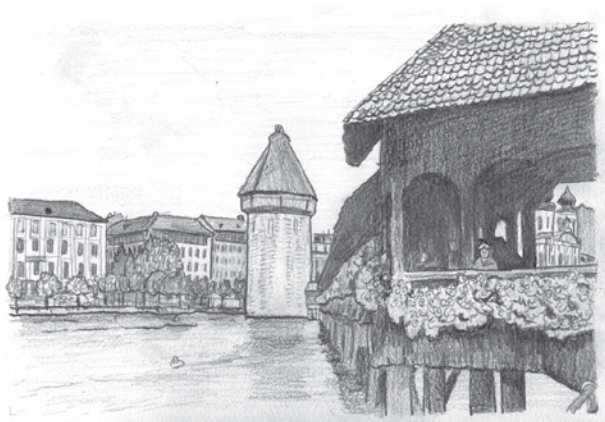
最終日（出国日）は空港駅で当日受け取るようにしておいた方が、半日くらいは観光やハイキングができるので便利である。





## 5章

# 情報を有効に 活用しよう



# ホテルのWifiを 活用しよう

ホテルはwifiの使えるところを予約しよう。ロビー以外はつながりにくいところが多いが、部屋で使える場合もある。天気予報、電車の時間など、各種の調べものに便利である。



## 15 スイスではwifiが役にたつ

計画段階であっても、チケット類やホテルの手配等はインターネットのできるので便利であるが、スイスに行ってもwifiが使えるようにホテルを選んで予約する。以前デトロイトで3日でスマホの料金が1万円を超えて驚いたが、電話では高額になるがメールでの連絡で安くできる。

スマホはスイス国内の電車の時刻調べや天気予報の確認など、ハイキングのタイミングをはかる上で有効である。wifiと有料の情報などが入らないように機内モードに設定してスマホを活用した。

現地のドイツ人との連絡もメールでやりとりした。つながりのトラブルが発生する時があるので、ホテルに着いたらwifiの設定と家族や友人に連絡できるか確認するのが大事である。ホテルの電話番号を覚えておいた方がいい。

# 日本人と会うと ほっとする

日本人と海外で会うと何故か懐かしい気分になる。電車の中やハイキングの途中、観光地などで出会ったら情報交換をしよう。意外とガイドブックにはない最新情報が聞けたりする。同じ人に何回も会って仲良しになったこともある。



## 16 日本人から最新情報を

英会話に弱い日本人には、外国で日本人に会うとなつかしい。道を確認したり、どんな花が咲いているかとか、他の地域の天候などを確認しておこう。

飛行機でのトラブルやハイキング時の道の確認にツアー添乗員の情報が役に立つ。ツアーの団体を見つけたら話しかけてみよう。

あるときホテルで宿泊した日本人から、ここ数年は天候が不順で雨が多いと聞いたので、雨の場合に行くところを再検討した。インターネットでの天気予報がこの場合役だった。

## みんなで確認 すれば怖くない

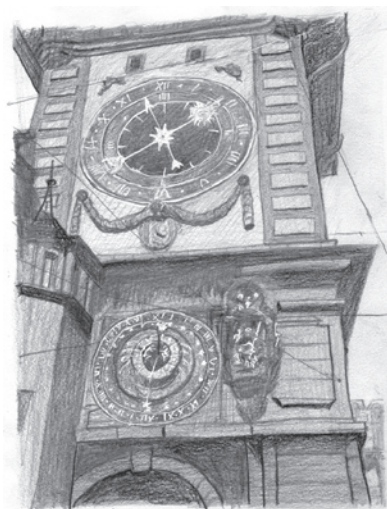
間違いは必ずあるものと考え、多くの目で確認しよう。道に限らず、旅のあらゆる計画を全員で確認すれば、間違いがあっても小さな間違いで済むことが多い。ただし海外だけは信号が赤でも渡る人が多いので気をつける必要がある。



## 17 道の分岐でよく確認を

ハイキングコースでない一般道を間違っ  
て歩いたことがある。現地の人に  
目的地に辿りつけることは確認したが、  
自動車道を歩いてしまった。

分岐では間違わないように充分確認  
する必要がある。地図と道標で確認す  
ることが大事。たとえ間違っても、個  
人旅行なら予備日にもう1度行くこと  
も可能である。

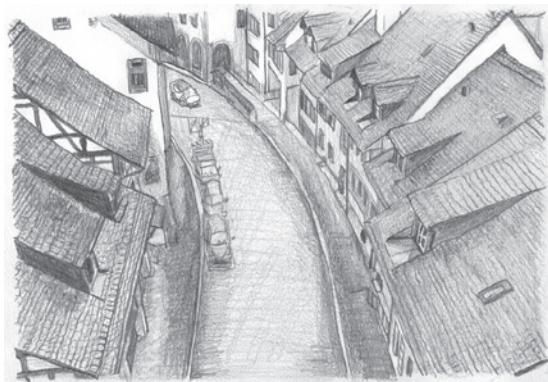


## コラムー5

### インターネットを楽しもう

日本国内での計画段階やスイスでの行動中の情報収集以外にもインターネットはとにかく使える。日本の家族とのテレビ電話、友人とのメールのやり取りもwifiで可能である。

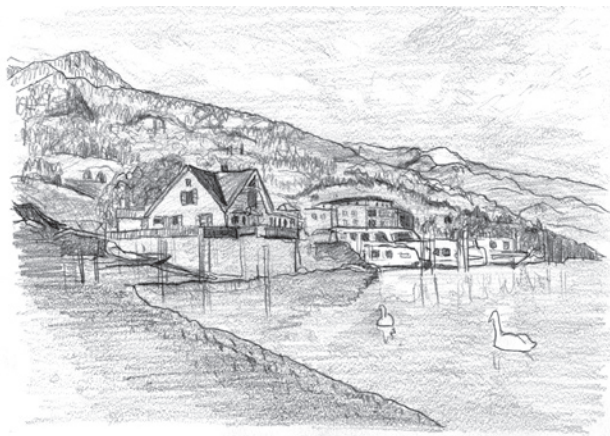
スイスからTwitter で現地情報の発信もできる。帰ってからのホームページによる発信も楽しいものである。





## 6章

# トラブルは事前に 予測し対応を



## 貴重品は身に つけておこう

リュックサック、ハンドバッグ、ウェストポーチなどの分かりやすいところは危険。腹巻とはいわないが安全なところに入れておこう。スリが海外ではかなり多い。私はチャック付のカーゴパンツのポケットに、パスポート、現金などを入れておくことにしている。



## 18 飛行機などのトラブル対応

飛行機のトラブルで一番困るのは便のキャンセルである。あるとき電光掲示板にキャンセルと表示が出て、最初は何のことか分からなかったが、飛行機が運休とのことでびっくりした。

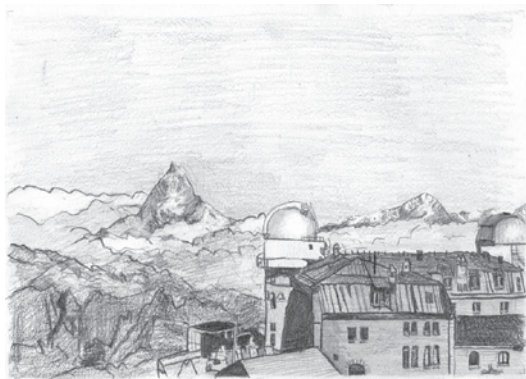
運休になった場合は、イミグレーションをしないで、フライトコネクションなどのカウンターで相談して別の便に変更をお願いする。日本に近いアジアで乗継した方が日本に行く便が多いので安心である。

私は日本のお隣、韓国インチョン乗換便を利用している。心配な人は、料金が高くなるが、日本直行便利用が安心である。私は安い方の乗継便を利用している。

2人でトランク1つにするとスイス国内での移動などに便利であるが、どうしても帰りにお土産が多くなって重量オーバーになる場合があるのでオーバした場合は予備のバックなどに入れ、バンドで固定して2つにすることを考えた方がいい。

## 過去のトラブル から学ぼう

トラブルは同じようなものが多いので、できるだけ過去の事例を調べて対処方法を考えておくことが大事である。スリ、置き引きが多いが、気のゆるみが原因である。すられたときのことを考えてパスポートのコピーを持参しよう。



## 19 いろいろなトラブルと対応

トイレは電車の中で済ませた方がいい。大きな駅では探すのが大変だし、有料の場合もあり、お金の払い方も機械操作方法が分からず困ってしまう。それにかかなり高い。

スイスは治安がいいが、それでも日本とは違うので、都市部には行かないようにしている。白タクなど海外ではタクシーのトラブルが多いが、スイスでは電車移動が多いのでタクシーの必要がなくて安心。ホテルが駅から遠い場合はホテルに電話すると迎えに来てくれることもある。

レストランの椅子にハンドバック、カバンなどを掛けておいて持っていかれる場合もある。平和で治安のいい日本のつもりでいると、気の緩みからトラブルになる場合が多いので、常に気をつけることが大事である。

## コラムー6

### トラブルが発生しないように

スイスは比較的治安がいい国であるが、注意しておくことが大事。外国なので、日本とは違い、貴重品はバック、ポーチなどに入れて身に不着けておくこと。

私の場合は、カーゴパンツにチャックが付いたものを愛用している。それと普段着で出かけることにしている。女性の場合は、装飾品を身につけない方が安全である。それと現金はあまり持たずに、国際的に知られているVISAカードなどのクレジットカードで支払いをした方がいい。

最低限度の現金を持っていることはもちろんである。カードのトラブルで、使えない場合があるので、1人で旅行する場合は、違う会社のカードを2種類持参した方がよい。

## 付録

### 英会話でよく使う表現

どこですか	Where is (トイレ)
ありますか	Do you have (コーヒ)
ください	～ Please (ジュース)
聞こえませんか	Pardon (もう一度言って) Please speak (ゆっくり話して)
おねがい	～, Please (コーヒ)
どのくらい	How long (時間がどのくらい)
いくらですか	How much (これは)
いつですか	What time (ベルンにいつ着く)
～で行きたい	I want to go (電車)
うれしい	I am glad (あなたに会えて)
すみません	Sorry
失礼	Excuse me
ありがとう	Thank you
会いうれしい	Nice to meet you
こんにちは	Hello

\* ( ) 内の日本語を英語にして話そう

## 英会話事例

前ページの表現を使った短文です。暗記して使いこなそう。

Where is the rest room?

Do you have coffee?

Juice, please.

Pardon?

Please speak more slowly!

Coffee, please.

How long does it take to the station?

How much is this?

What time do we arriving to Bern?

I want to go by train.

I am glad to meet you.

\* 事例をどんどん追加して活用しよう

\* 旅行の場面を想定して作っておこう



# 花ハイクmemo



高尾山の花名さがし

# 花ハイクmemo

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



# 花ハイクmemo



高尾山の花名さがし

花ハイクmemo

Lined area for writing, consisting of multiple horizontal lines.



# 花ハイクmemo



高尾山の花名さがし

# 花ハイク memo

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



# 花ハイクmemo



高尾山の花名さがし

あとがき

この本は、友人の岩井夫妻や家族などと共にスイスへ旅行した体験をもとに、ガイドブックには載っていない色々な場面での対応やノウハウをまとめたものです。スイス旅行のきっかけはおよそ20年前、現役の頃にインターシップで私の職場に来たマーチンさんがスイスに住んでいたことでした。

絵の教室の金子純子さんには素晴らしいさし絵を描いていただきました。スイス以外を個人旅行した友人からも貴重な体験談を提供してもらいました。

岩井さんには同行時に撮影した写真を提供していただき表紙の写真と金子さんのさし絵の材料としました。

協力と応援してくれた人たちに感謝、感謝です。多くの人の協力を得ながら完成したこの本が、これから個人旅行でスイスや海外に行きたい人のために少しでも役立ってくれればと思います。

To whom this may concern

In 1993 I had an opportunity to work in Japan where I met Mr Endo. Fascinated by the intensity of Japan in many ways, Japan has ever since remained with and inside me alongside my friendship with Mr Endo.

I finally ended up living and working in Switzerland. Mr Endo likes Switzerland a lot since the mountains and the beautiful nature also provides enough opportunities for hiking and taking pictures of mountains and flowers. I have studied Mr Endo's book about Hongkong and about Takao san's flowers and I am also happy to provide a few lines to his latest book. I was also happy to meet Mr Iwai and wife in Switzerland last year and can confirm that they liked it there very much. I would like to thank Mr Endo for this opportunity to comment on his book and hope there will be plenty more opportunities for future books and travelling.

Martin Schroder

Unterterzen, Switzerland, Jan 27, 2015



かたこと英語でスイスへ行こう  
2015年3月10日

著者 遠藤 進  
さし絵 金子純子  
発行 デザインエッグ  
製作 揺籃社

本内容は著作権法第17条により無断で複製、複写を禁じます



個人旅行の本